

あなたはどちらの国に生きるのか失われた者Ⅹ

「見ているものと足の土台」 (つまずかないもの)

マタイ 11:1-25

はじめに

今、あちこちで戦争が起きていますが、聖書には国が国に敵対し、不法がはびこり、多くの人の愛が冷えると書かれています。だからそうなった時にも私たちは心を騒がさず本当の自分で生きていく事が大切です。又、「主イエスを信じればあなたもあなたの家族も救われる」と約束されていますが、その回復の為に要している年月の中で外れた道を戻っています。回り道と思えるような過程の中で成長していく。苦難だった道も必ず益になる、神様の大きな計画がそこにはあります。大切な事は、人生の揺るがされない土台を持っている事です。自分が通ってきた人生を通して神様は土台を強くしようとされているのに、見えるものによって緩んでいないでしょうか？あなたの視線はどうでしょうか？見えるものによってどんな影響を受け、どんな判断をしているのでしょうか？

つまずかない者は幸いである。

イエス様は見ているものでつまずかない者は幸いであるといわれました。つまずかない為には足が強くなければいけません。洗礼ヨハネはイエス様の道備えをする使命があり、イエス様が救い主である事を知っていました。にもかかわらず、王様に預言者として忠告した為に牢屋に入れられた時に、イエス様に「おいでになるはずの御方はあなたですか？それとも、私達は別の方を待つべきでしょうか？」と質問しています。だからイエス様は弟子達に自分達の聴いたり、見たりしている事を伝えるように言われました。弱点のせいで上手くいっていない事はないですか？そこを強めていかないとはいけません。

モーセも自分が赦されたのに、自分を神様の立ち位置に置き、民を裁いたので約束の地に入れませんでした。神様は私達の人生にこの様に関わって、私達にとっては意味がわからない事、予測不可能な事をされるのです。洗礼ヨハネも、弟子達によってもイエス様のされる事は意味がわからない事でした。イエス様は、失われた者達を探し出し救う為に来られたので、まず、その人達を助けようとされました。それは弟子達やヨハネの想像を超えていました。だから、洗礼ヨハネにイエス様はもう一度神様の目的を伝えました。見えなくなっていた人が見える様になり、歩けなかった人が歩き、聞こえなかった人が聞こえる様になり、死んでいたような人が生き返りました。それは、私達の内側が生きかえる事でした。

見ているものによって影響を受けているものはないか？ (マタイ 11:15 ~ 19)

例えば、家族の今の姿を見て、裁いて、愚痴ってはいませんか？何かあると誰かのせいと思う心、ニュースを見て又燃料が上がると不安になる心などはないですか？花嫁は油を絶やさないようにしてろうそくの火を保って、花婿を迎えようと待っていたのに、ヨハネが待っていた救い主が来たと言っても、笛を吹いてやっても踊らなかつた。そして十字架にかけても、甲いの歌を歌ってやっても、悲しまなかつた。(17) ヨハネが来て、食べも飲みもしないと、『人々は、あれは悪霊につかわれているのだと言った。』(18) また、人の子が来て食べたり飲んだりしているのを見て、あれは大酒飲みで食いしん坊だと言ったのです。(19) あなたも、見える事だけみて、このような浅はかな愚かな考えになってはいないでしょうか？

本当の姿で生きる

神様は男と女を造られて明白な役割を与えました。男と女が支え合う時に偉大な力を持ちます。それぞれに本来の役割があり、本来の姿があります。しかし、人間がこういった本来のものを壊してきてしまったので、本来の姿・役割ではない生き方をしています。これが私たちの2面性です。

私たちは多くの場合、この2面性によって相手につまずきを与えてはいけないと思います。しかし、それは少し違います。聖書にはつまずかない者は幸いであると書かれてありますが、相手をつまずかせな

いようにする前に自分自身がつまずいている事に気が付いているでしょうか。少しの影響で自分をつまずかせないようにすることが大切です。

私たちはよく、回りの人の問題についてスキャンダルという言葉を使っていますが、もとは「スキャンダロン=つまずく」という意味です。私達は人の問題を批判しますが、実は同じ問題を持っているのです。「私がつまずいている」ことに気が付かなければいけません。スキャンダルを起こしてしまうのは、足が弱く、土台が弱いからです。つまずいてしまう私達であるから、『全て疲れた者は私のもとにきなさい。わたしはあなたがたを休ませてあげます。私は心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。』(11:28~30)と言われているのです。表向き鍛えていても、一部が弱っていたら、備えていなかったら、つまずき、罪を犯してしまいます。自分のつまずきを守ろうとすると周りをつまずかせてしまうのです。自分の罪を理解し自分が罪人である事をわかっている事が大切です。罪人が回復する様に仕えるように言われたのに、裁いている天国の非国民になっていないでしょうか？その人が目が見えなくなっているのは父母が罪を犯したのではなく、神の栄光が現われる為だとイエス様は言われました。神様の前に出るとズレたものが回復されていくのです。予測不可能な出来事が人生には起きますが、神の知恵で見るなら正しく生きる事が出来るのです。

自分の人生を主と共に強く生きていく

ある問題だらけの家庭がありました。相談に行ったら、家に帰って山羊を飼う様に言われました。山羊はマイウエで世話がとても大変なので、もっと家庭が大変な事になりました。そこで、山羊を返したら家庭に平和が戻って幸せを感じるようになりました。この様に大きな問題が起こると、幸せだった事がわかるのです。人間は幸せなのに、問題を探して生きているのです。問題を探していて幸せになれるはずはありません。

目の前の問題を見つけて問題だと言い続けてズレて行く人生もあります。しかし、イエス様が支えてくれているので、主により頼むなら、クリスチャンは他の人と違う決断が出来、違う事が出来ます。私達は選ばないとはいけません。神様が求めているのは、どれだけ神様と一緒にいて、自分の弱さを見て戦って、本当の姿に戻ろうとするかです。あなたが本来のあなた自身である事を神様は願っています。誰かの他の人の人生を見て比較して自分の人生を嘆く事を辞めて、自分に定められた人生を揺るぐ事なく歩んでいきましょう。

さいごに

詩編 15:10~17を紹介します。

『神よ。私にきよい心を造り、ゆるがぬ霊を私のうちに新しくしてください。私をあなたの御前から、投げ捨てず、あなたの聖霊を、私から取り去らないでください。あなたの救いの喜びを、私に返し、喜んで仕える霊が、私をささえますように。私は、そむく者たちに、あなたの道を教えましょう。そうすれば、罪人は、あなたのもとに帰りましょう。神よ。私の救いの神よ。血の罪から私を救い出してください。そうすれば、私の舌は、あなたの義を、高らかに歌うでしょう。主よ。私のくちびるを開いてください。そうすれば、私の口は、あなたの誉れを告げるでしょう。たとい私がささげても、まことに、あなたはいけにえを喜ばれません。全焼のいけにえを、望まれません。神へのいけにえは、砕かれた霊。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。』

つまずかないものとなる為に、予測不可能なことが起こった時、見える者だけを見ずに神様の目で見ます。そして、自分のつまずきが照らされた時、正しく生きようとする行動を選びます。神様と共に揺るがない者へと成長していきましょう。

(要約者:日名 陽子)

(2023年10月15日)